ふかまちのまど

第二三九号　一四年四月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　☎六三－三八八二

深小だより

新年度を迎え

三原市立深小学校

　三月二十日(木)、第六十七回深小学校卒業証書授与式を、多くのご来賓の皆様のご臨席のもと盛大かつ厳粛に挙行いたすことができました。十一名の卒業生が、それぞれの進路に胸膨らませて巣立っていきました。また、二十五日には、修了式を行い、平成二十五年度を終了することができました。
　この一年間、さまざまな面でご支援・ご協力をいただきました地域の皆様、保護者の皆様に深く感謝申し上げます。
　四月一日から、新たな年度の始まりです。小学校職員の異動がありましたので、お知らせいたします。転出する職員につきましては、在職中大変お世話になりました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

◇転出する職員
校　長　平岡　茂樹
定年退職
養護教諭　岡野富美子
尾道市立木ノ庄西小へ
教　諭　秋永　美絵

◇転入する職員
校　長　赤羽　邦子
三原市立沼田東小より
教　諭　前田　秀尚
三原市立沼田東小より
養護教諭　山口　雅子
尾道市立木ノ庄西小より

※このほか教諭一名が赴任します。氏名が分かり次第お知らせします。

　今年度は、十三名の新入学児童を迎え、全校児童数が八十八名でのスタートになります。職員一致団結して、誠心誠意努めてまいりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。▲▲

交流の大切さを学びたい

前期児童会役員会長　小林　果歩

　わたしが前期児童会役員会長になった小林果歩です。
　わたしは、今までの学校生活で地域の方々にお世話になっていると思います。そこで、次の公約をたてることにしました。それは、地域の人との交流を深めるということです。地域の人との交流を深めるとおたがいに良い気持ちになり、今までお世話になっていた分わたしたちの気持ちでお返しできると思います。そして、交流とは、みんなでふれあうので、笑顔になることができ、大切さを学べると思います。
　これからも、色々とお世話になり、教えていただく事もたくさんあると思いますが、精一杯がんばりますのでよろしくお願いします。▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html

副会長の役目

石本　幹太

　ぼくは、ここのたび副会長になりました。ぼくは、児童会役員として次の二つのことを守る学校にしていきたいです。
　一っ目は、「五分前行動をする」を続けて守っていくことです。時間を守ることは大切なことです。児童会役員の人と一緒に呼びかけていき、みんなが時間を守れる学校にしていきます。
　二つ目は「みんなと仲良く遊べる学校」にすることです。友達をたくさん作るために、児童朝会でみんなが楽しくできる遊びを計画して取り組んでいきます。友達がたくさんできるように「楽しい遊び」を計画していきたいです。
　ぼくは、みんなが気持ちよく生活できる学校を目ざしてがんばりますのでよろしくお願いします。▲▲

児童会副会長として

村上　加奈

　私は、平成二十六年度、前期児童会副会長になった、村上加奈です。
　私の公約は、ルールを守る学校にすると、下級生、上級生関係なく遊べる学校にするです。
　まず、一つ目の公約にした理由は、最近、ろう下を走っている人が多いから、自分も、ろう下を走ってしまうことがあるからです。
　二つ目の公約にした理由は、下級生、上級生で一緒に遊べば、ちがう学年どうしでも仲良くなれると思ったからです。
　この二つの公約を守り、ルールを守る学校、下級生、上級生関係なく遊べる学校にしていきたいと思います。また、私も、児童会副会長として、学校をひっぱっていけるよう、努力していきたいと思います。これから、よろしくお願いします。▲▲

深小学校をひっぱっていく

藤原　礼偉

　ぼくが、前期児童会役員になった藤原礼偉です。ぼくの公約は二つあります。
　一つ目は、時間を守ることです。それは、みんなが時間をきにしながら自分から声をかけられるようにしたらいいと思うからです。
　二つ目は、進んで行動することです。なぜかというと、たとえば、自分から進んであいさつをすると、学校全体が明るくなると思うからです。
　そしてぼくは、この二つの公約を守り深小学校をひっぱっていきたいです。▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

梅は散りスモモの花や桃の花
　わが住む所花の里なり

カラオケで腹の底から声を出し
　夫婦喧嘩するよりスーッとす

春巡り又春が来て夢の間に
　八十年の時は過ぎたり

ピッコロだより
(多機能型就労支援事業所)

春の花・お待ちしています。

　つくしが顔を出し、鶯の声も時折聴かれるようになり、寒いながらも着実に春が近づいてきています。みなさん、いかがお過ごしでしょうか？
　ピッコロでは、春の花が育ち始め、皆さんにお会いできる日を心待ちにしています。今は、ペチュニアが花をつけ始めています。お近くにお寄りの際は、是非覗いてみてください。
　また深の里では、春玉ねぎなど春野菜の育成の傍ら、ベビーリーフやアイスプランツの出荷を行っています。ぜひ一度、ご賞味下さい。▲▲

子ども会だより

深町子ども会ソフトボール部員募集

代表　田代　健史
監督　丸山　聡

　深町子ども会ソフトボールは、小学一年生～六年生までの男女を対象に部員を募集しています。
　練習は、キャッチボール等基本的なことから教えていきます。
　また、三原市ソフトボール協会、ジュニア連盟に加盟し、年間約十試合に参加しています。

毎週土・日
　朝八時三十分～正午まで
深小学校グランドにて練習しています。

　興味をもたれた方は、お気軽に練習を見に来て下さい。また、体験してみたい方、入部したい方がいらっしゃいましたら、左記までご連絡下さい。お待ちしています。

田代　六四－二七五七
丸山　六三－二〇七五
▲▲

深町各種団体四月行事予定

◆連合町内会
▼定期総会　十三日

◆上・中・下組各町内会
▼定期総会　六日

◆小学校・幼稚園
▼就任式・始業式　七日
▼入学式　八日
▼入園式(幼)　十日
▼参観日・PTA総会　十九日
▼読み語りの会　二一日
▼全国学力学習状況調査　二二日
▼クラブ活動　二三日
▼家庭訪問　二四～二五日

◆如水館中学・高校
▼始業式入学式準備　七日
▼入学式　八日
▼オリエンテーション　九～十一・十四日
▼身だしなみ週間九～十五日
▼全国学力調査（中学）　二二日
▼全校朝会　二四日

町内会新規入会者紹介

向井　安富　様(上組高下講)
松尾　誠　様(中組仲城講)

展望席

　「地球最初の生命の誕生は三十七億年前であることが確定した」と、昨年十二月に東北大学などのチームが発表しました。そうだとすれば、三十七億年前から私達は、限りない命の縁（エン）によって、今、生きていることになります。もしも、途中で一つでも命の縁が切れていたら、今の命はありません。少なくとも、一人の命は三十七億年の重みがあると言えるのではないでしょうか。
　四月は多くの新たな縁が生まれる月でもあります。新入生、新社会人、退職して第二の人生を歩む人、受験に失敗した人もそれぞれに新たな出会いがあり、様々な縁が生まれてきます。自然界を見ても、美しく咲く花も蝶や蜂との縁で実が出来、蝶や蜂も花から栄養を頂いて限りない未来へ命をつないでいきます。樹木にからみついている蔓を見ると、樹木にかなり食い込んでいて、樹木との縁を執拗に大事にして生きています。
　合縁奇縁、良縁もあれば腐れ縁もあります。「縁は異なもの味なもの」「袖すり合うも他生の縁」普段は何気なく暮らしていますが、ちょっと考えてみると限りない様々な縁の中で生きています。一つの出逢い、一つの縁で人生が大きく変わることもあるものです。
　深町に昔から住んでいる人、新しく住まわれた人、皆何かの縁で深町に住んでいると思います。縁を大事にして一層住み良い郷土にしたいものです。特に日本はエン（円）が大事です。

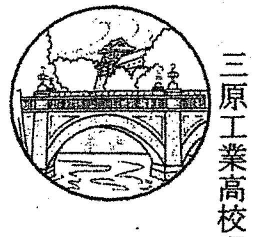
『三原随想』

昭和四十五年二月に、芸陽日日新聞創刊十五周年記念事業の一つとして、芸陽日日新聞（株）さんから随想集『三原随想』が刊行され、三原市内の不特定な人々（一七七名）の随想が掲載されています。その中に当時、三原工業高校理事長山中幸吉さん（故人・山中学園の創立者）、三原市議会議長林哲夫さん（故人・上組西側講）及び中之町郵便局長成末豊さん（故人・上組下成瀬講）の随想があります。

　芸陽日日新聞（株）さんのご承諾を頂いて、この三名の方の随想を掲載致します。

藍綬褒章を受章して

三原工業高校理事長
山中幸吉



去る六月十四日、私は全国二十五人受章者の一人として藍綬褒章をいただく栄誉に浴した。

　その日剣木文部大臣は一人一人に褒章の記を読んで手渡して下さった。続いて秀峯富士の壁画のある宮中北の間で天皇・皇后両陛下に賜謁をいただいた。陛下にはおおらかなおももちで正面近くお姿を表され、私ら一同におほめのお言葉、おいたわりのお言葉を、皇后陛下には一層健康に気をつけてはげむようにとやさしい調子ではっきりとおっしゃった。私の頭はおのずから深く垂れた。ささやかな私どもの仕事をこれほどお気にかけていただくかと、とても嬉しくありがたい。が、しかしまた一面自分だけでなしとげた仕事でないのにとなにか面まばゆいものを感じて、陛下に相すまない気持がした。親が子どものわずかな善行にも不相応に喜ぶように、陛下のおほめのお言葉もそういうものであろうかと思う。

　私は、このとき、日本の天皇の国民への愛情ともいうべきものを、この肌で感じたのであった。陛下のお言葉を一言一句をかみしめ、胸にたたんで賜謁時間十分余、一生一度の得がたい印象と感動を胸深く刻んで案内されるまま、砂利を踏んで賢所を拝観した。私ども明治生まれの者にとっては言い知れぬ感激と幸福を感じて皇居を退去した。

　こんど私が褒章を受けるにあたり、二十八年間、風雪に堪えて、ともかく今日の学園にまで育ったことは、私の手柄というより関係者の皆様のたゆまぬ協力と努力のお蔭であって、今回の受章は私が代表したに過ぎない。それで、私の嬉しさが大きければ大きいほど、皆様への感謝の気持が深くなるのである。このことを十分にご理解戴き、恩情に満ちた両陛下のお言葉を体得し、学園の使命を果たして精進を続ける心の杖、精神の柱として肝に銘じたい。かくてこそありがたい両陛下のお言葉に副い得るゆえんだと思います。▲▲

思い出の御調坂

三原市議会議長　林　哲夫

　夏休みになると、私は弟と二人で、母の実家に行くことが多かった。御調坂（みとさか）を越えて歩いて行った。御調坂は深町の裏口から八幡町に通ずる間道で、けわしい石ころ道である。上りは六粁、下りは二粁位あろう。長くて淋しい山道である。道に沿うて川がある。「早よう行かんと暑くなるぞ」、家族のきまり文句を後にして、急いで家を出る。十分位歩くと山道にかかる。そこに「魚切の大池」がある。すごみを帯びた真青い水が満ちている。神秘的で恐怖の感に強く打たれる。しばらく進むと、雄滝、雌滝が見える。雄滝は、山の中腹に岩壁が露出している。雨上がりの日は、水量が豊で、勇壮な美観に打たれる。雌滝は、川の中の断崖が滝になっている。いつも水量が多く、美しい。

　この辺りから道は急になり、山はいよいよ深くなる。日は高くなり、山は暑くなる。草いきれが胸をつく。ときにヘビやトカゲに肝をつぶす。そのうちに「鬼の釜」という岩壁の下にくる。その昔山賊が旅人を待ちうけていたところといわれ、恐ろしいところである。少し進むと、落石（おちいし）のところにくる。天をつく巨大な岩塊が、道のすぐそばに小山の如く突っている。

落石（おちいし）

　それは、大小幾つかに割れ、かつ破け、今にもどれかがくずれ落ちそうな風情をしている。一塊でも落ちかかればグッドバイである。二人は祈りつつ走る。峠に来る。「み堂」がある。石仏が祭ってある。礼拝して無事を祈る。ここから下り坂である。腰をおろし、山の涼風にふかれながら汗を拭き、うまい空気を吸う。御調坂を越す者でなくては味わえない安楽境。坂を少し下ったところに清水（しみず）が湧き出ている。水杓が二つ三つ置いてある。水がすごく冷たくて、うまい。母の実家はまだほど遠い。一気に坂をかけおりる。

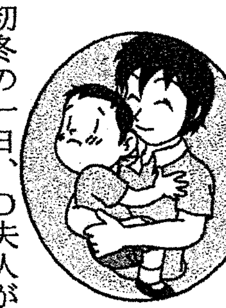
　御調坂は、変化に富んだ峠である。私にとって意義ある峠である。御調坂にある数多くの風物は、私の今日までの人間形成に、それぞれ無意識のうちに何がしかを与えてくれていると思う。今は逝き弟とともに、いつまでも私の心に生き続けるであろう。▲▲

最近感じた事

中之町郵便局長　成末　豊

　今年も色々な出来事が起こったが、一番大きなニュースは米国のコンバーグ、グリアン両博士が自己増殖の出来る生きたビールスを人工合成に成功した事であると思う。門外漢の我々には詳しくは知る由もないが、多年の夢であった生命創造へと一歩近づいた訳で全くすばらしい出来事という外はない。科学的に生命が創りだされるとしたらどうであろうか。私は夢を追つてみる……。

　この生命創造が極限にまで発展して人間の生命が科学的に創り出されたとしたら、我々人間は一体どうなるであろうか？おそらく造成人間共によって色々な面でノックアウトされる事も多いだろう。



　去る初冬の一日、O夫人が三才位の男児を連れて局の窓口に来られた。どこの子も同じで、この子も待合室をアチコチとび廻っていたが、どこでどうしたのか反古紙をポンと土間に捨てた。これを見たO夫人は「エッ！反古籠があるでしょう。チャンとその中に捨てなさい」と皆の前で言葉きつく叱った。事は只それだけであったが、この時の母親として、見て見ぬふりをする母親、注意はしないが、自分で反古を捨ててやる母親、又この場の如く　あく迄子に行為させる母親等々母親としての色々な型があると思う。私は二十数年間教職におり、後の十数年を今の郵便局におるので数知れぬ沢山の人々に会っているが、このような現場に直ぐに出くわしたのは初めてであった。生命の創造はコ・グ両博士の研究にまつとして我が子の人間性創造はその母親の手にまつのが常態である。

　近頃の親達は昔のように沢山の子を持たなくなった。考えてみれば、数が少なければ少ない程、希少価値は大きくなり、子にかける夢もまた大きくなる訳で、現代の親達がその子の教育に異状な迄の熱を入れるのも、さこそと思われるが、そうであればあるだけ、このO婦人に学ぶ点がありはしないであろうか。▲▲

歩く会にご参加を

歩く会幹事　石井　堂熙

忠海駅周辺と
バンブージョイハイランド
（竹原）探坊

月日　四月八日（火）

行程
八時三十分　上組公民館発（車）
九時三十分　探訪開始（徒歩）
十二時　探訪終了・昼食
十三時　深町帰着予定（車）

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

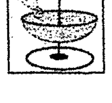
深小の子どもは

○**午後四時二十分頃下校します。**
※日によって、異なることがあります。

○**近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。**

○**あいさつ、声かけをしましょう。**

TBG協会だより



第二十一回玉野市ターゲット・バードゴルフふれあい大会

　第二十一回玉野市TBG大会が二月二十三日（日）、岡山県玉野市和田「林間芝生広場」にて行われました。三原TBG協会からは林洋祐・金子勝彦・吉川道一・平岡博司・天木雅之の五名が参加しました。

　成績は吉川道一が団体の部で優勝、個人の部で三位、平岡博司がホールインワンでした。他に数多くの飛賞を獲得しました。

　大会終了後に尾道TBG協会主催の月例会に参加しました。

コミュニティーボックス終了のお知らせ

　スーパーニチエー中之町店様に設置していましたコミュニティーボックスが一月末日をもちまして終了致しました。

　町内外の皆様のおかげで補助金を頂くことができました。ご協力ありがとうございました。補助金はこれからの活動にまたコースの維持管理に使わせていただきたいと思います。

　なお、現在深町ふれあいサロンで設置しています。引き続きご協力の程よろしくおねがい致します。

第三十六回三原市ターゲット・バードゴルフ大会

　第三十六回三原市TBG例会が三月二日（日）、深町・城山コースにて行なわれました。成績は次の通りです。

一位　林洋祐（深町上組）
二位　金子勝彦（和田町）
三位　平岡博司（深町中組）
ベスグロ　吉川道一　五七（港町）

二人組戦一位
　志水孝則（深町中組）
　天木雅之（深町上組）

次回大会は四月五日（土）

第十五回ターゲット・バードゴルフふれあい岡山県大会

　第十五回TBGふれあい岡山県大会が三月九日（日）、岡山市藤田リバーサイドTBGコースにて行われました。三原TBG協会からは船本雄三・吉川道一の二名が参加しました。
　成績は次の通りです。

一般の部
三位　吉川道一（港町）

※選手の敬称略

TBG事務局　天木雅之▲▲